



学校だより

9月号

泉区緑園五丁目28番

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ryukuenhigashi/>

TEL (811) 6710

学校長 副島江理子

「輝いた夏」

～子どもたちの夏休みの活躍～

夏休みが終わり、子どもたちが笑顔いっぱい学校に戻ってきました。どのお子さんも身長が伸び、日焼けしたお子さんも例年より多いように感じました。暑い日が続きましたが、その中を元気に活躍したことの証でしょう。休み明けの一週間、暑い日もありましたが、子どもたち自身がしっかりと心構えをして登校をしていることが伝わってきました。各ご家庭や地域でのあたたかい支えがあり、子どもたちもやる気を出すことができています。いつも本当にありがとうございます。

夏休みも輝いていた子どもたちの様子を紹介します。

夏休み恒例の区や市の水泳大会、緑園や名瀬でのお祭りでは、今年も本校の子どもたちの活躍が光りました。名瀬のお祭りでは、例年より多くの子どもたちが盆踊りの太鼓を担い、自信をもって叩くことができました。緑園のお祭りでは、今年も100名の子どもたちが暑い中をはっぴを纏って「緑園ソーラン」を踊りました。続いて、今年も6年生の代表が地域の方々とやぐらの上で「アラメヤ音頭」を踊りました。「アラメヤ音頭」も今年で4年目です。今では、他の子どもたちもやぐらのまわりで踊れるようになりました。

さらに、今年、特に目立ったのは卒業生の活躍です。名瀬のお祭りでは、卒業生が地域の一員としていろいろな役を担って活動していました。また、小学生と卒業生が仲良く盆踊りの輪をつくって、地域の方々と一緒に楽しく踊っており、私もついつい最後まで一緒に踊ってしまいました。今年、小学生として参加した子どもたちも、このような卒業生の姿を見て自分たちの数年後の姿に重ねてほしいと思います。

このように夏のお祭りは、「がっつ緑園～地域でもがんばる」のスローガンが、少しずつ子どもたちに根付き、卒業しても子どもたちの心に生き続けていることを感じることでできるうれしい時間でした。

夏休みの水泳教室では、例年になく暑さで保護者の皆様にもいろいろとご協力をいただきました。ありがとうございました。区水泳大会に参加した子どもたちは、全員が元気に泳ぎ切りました。代表で6名の児童が24日の横浜市水泳大会に参加しましたが、8月後半の水泳教室には4年生も元気に参加し、来年度が今から楽しみです。

次に、一人ひとりの個性が光る「夏休み研究作品展」の紹介です。名称を変更して2年目の今年は、「自らの課題を明確にして、活動過程を大切に。」という趣旨が昨年以上に子どもたちに伝わったように感じます。テーマの設定にも一人ひとりの思いが感じられます。子どもならではの視点に感心させられるものがたくさんありました。なぜこのテーマを選んだかという自分の思いを明記した作品も増えました。活動過程、制作過程を明記していること、観察、実験と共に参考図書を「参考文献」としてあげていること等、これまでの学習を生かしている様子も窺えます。

子どもたち一人ひとりの思い、そのらしさが発揮された作品が並び、参観するのがとても楽しい「夏休み研究作品展」となりました。保護者の皆様も暑い中を参観していただきましてありがとうございました。作品をとおして一人ひとりの子どもたちの顔が浮かんで来て、感動でいっぱいになりました。

夏休みもがんばった子どもたち。これからも、すてきな緑園東の子どもたちの成長に寄り添うことのできる喜びを教職員一同かみしめながら、日々の教育活動に一層励んでまいります。どうぞよろしく願いいたします。